

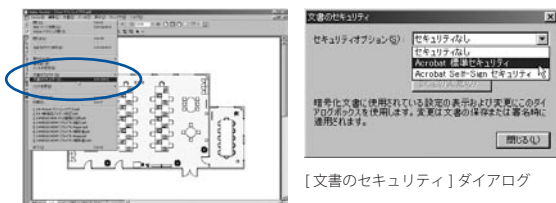
セキュリティを設定する

■ パスワードセキュリティを設定する -Acrobat 標準セキュリティ

Acrobat では、文書の閲覧や編集などの操作に制限をかけることができます。はじめにパスワードセキュリティについて紹介します。

● セキュリティを選択する

[ファイル]メニューから [文書のセキュリティ] を選択します。すると [文書のセキュリティ] ダイアログが表示されます。次に [セキュリティオプション] のリストから [Acrobat 標準セキュリティ] を選択します。

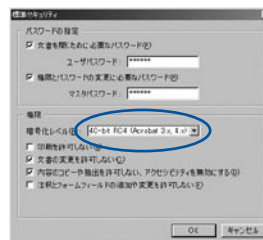


[文書のセキュリティ] ダイアログ

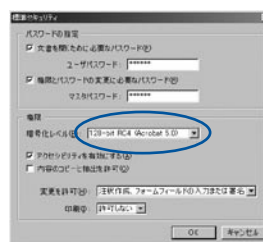
[文書のセキュリティ] を選択

● パスワードと権限を設定する

続いて [標準セキュリティ] ダイアログが表示されます。パスワードには 2 種類あり、PDF を開くことが許されるユーザパスワードと、開いた上で権限およびパスワードを変更する際に必要となるマスタパスワードがあります。どちらか、または両方にパスワードを入力し、[暗号化レベル] を [40-bit] または [128-bit] のどちらかを選びます。必要に応じて許可の内容を設定し、[OK] ボタンをクリックすると、パスワード確認が求められるので、それに応えます。[文書のセキュリティ] ダイアログに戻り [閉じる] ボタンをクリックし、最後に文書を保存して PDF を閉じれば作業は完了です。



暗号化レベルを 40bit に設定した場合のダイアログです。旧バージョンの Acrobat で文書を開く可能性がある場合には、暗号化レベルを 40bit に指定します。ここでは、禁止事項として変更ならびに内容のコピーを設定しています。許可事項には、注釈やフォームフィールドの追加と印刷を設定しています。



暗号化レベルを 128bit に設定した場合のダイアログです。より強固なセキュリティにより、いっそう安全性を高めることができます。ここでは、アクセシビリティを利用可能とし、文書の変更は注釈およびフォームフィールドに限り許可しています。禁止事項として印刷やコピーなどはできないよう設定しています。

● セキュリティの設定された PDF を開くと…

ユーザパスワードが設定されている PDF を開いたり、権限を変更しようとする、入力を求められます。正しいパスワードを入力しないと次に進めません。また、開いた PDF のステータスバーには、鍵のアイコンが表示され、文書が保護されていることを示しています。



PDF を開くためにはパスワードが必要となる